育成幼稚園　９月園だより

「共存＝一緒にいること」

園長　高地　敬

自動車で移動中にラジオから、「夏休み子ども電話相談室」が聞こえてきました。科学（全般）、鳥、恐竜について質問を受け付ける日でした。

「色を混ぜると、違う色になるのはなぜですか」には、科学の先生が、「物を見るというのは、物の何を見ているのでしょうか」、「ひかり？」、「そう、光です。昼間だったら太陽の光が物に反射されて見えています。では、赤いリンゴが赤く見えるのはなぜかというと、太陽などの光が赤いリンゴに当たると、光の中の赤い光だけ反射して、あとの光は吸収します。だから赤く見えます。反射する色がない時は黒く見えます。絵の具などの色を混ぜると反射する色が増えるので、両方の混じった色になります。分かったかなあ。むずかしかったかなあ」、「ありがとうございました。」

次は小学4年生。「ハシブトガラスとハシボソガラスは共存できますか。」、「どんなところで見たかな？」、「同じところで朝いたのと、帰りに見たのとが違っていました」、「そっかあ。えー、カラスはいろんなものを食べる雑食です。例えば〇〇君が好きなお菓子が一つあって、でも分けられなければ、同じお菓子が好きなお友達と一緒にいることはできません。同じようにカラスは、好きな食べ物が同じだと一緒にいられないし、違っていると一緒にいられます。ただ、同じ食べ物が好きでも、それがたくさんあるところでは一緒にいられます。だいたい共存できると言えますが、場所にもよるし、時間帯にもよります。またよく観察してみてください」、「ありがとうございました。」

いろいろ考えさせられます。私たちも吸収しているものと反射している（受け付けられない）ものがあるのでしょう。また、人と共存しているか。動物だと取り合いをするか、なわばりを分けるかです。人間も取り合いをすることがありますし、分けられない好きなお菓子は涙を呑んで（喜んで）相手に食べてもらうこともあるし、隠して後で一人で食べることもあるでしょう。私はカラス以上に、人と一緒にいたいと本気で思っているでしょうか。